

# グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール [shikoku\\_soumu@rinya.maff.go.jp](mailto:shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp)



四国山の日

No.1139 2015年2月号

## 平成26年度四国森林・林業研究発表会を開催

1月22日、第62回を迎えた今年度の研究発表会は、局署等のほか、教育機関、各研究機関等から、18課題（特別発表を含む）が発表されました。 【詳細は2頁】



高知県立四万十高等学校の発表の様子

## 四国森林・林業研究発表会を開催

〈技術普及課〉



一月二二日、四国森林管理局大会議室において、「平成二六年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。

まず、浅川局長から、「発表される課題は、森林整備、木材利用を初め、治山、林産物、獣害対策、森林環境教育など多くの今日的課題についての研究成果であり大変有意義な内容です。発表される課題が、これからの森林づくりなどに反映されることを期待します。」と挨拶がありました。六二回目を迎えた今年度

の研究発表会は、局署等の

ほか、教育機関、各研究機関等から、かかり木の安全対策や自然保護、ニホンジカによる食害対策など一八

課題（特別発表を含む）が発表されました。また、高知県立高知工業高等学校、高知県立四万十高等学校から、学習活動の一環として取り組んでいる内容について発表があり、会場から多くの拍手が送られました。特に、今回の特徴として、発表の内容は勿論のこと、パワーポイントに、動画を挿入するなど聴講者に

分かり易い配慮が見受けられました。また、聴講者は、局職員はもとより民間事業者、自治体、研究機関などからも切れ目なく、多数の方々が発表に聴き入りしました。

審査の結果、四国森林管理局長賞として六課題（最優秀賞一課題、優秀賞三課題、奨励賞二課題）が選出され、各受賞者に表彰状と記念品が授与されました。

また、日本森林技術協会理事長賞、日本森林林業振興会会長賞としてそれぞれ一課題選出され、表彰状が授与されました。最優秀賞に輝いた森林技術・支援センターの発表は、シカ捕獲に用いる「囲いな」について、軽量化・低コスト化に向けて、また、

シカが誘引の餌に対する反応状況や「わな」に入る動画を挿入するなど、日頃の取組と合わせ高く評価されました。

なお、今回の発表課題と審査結果は最終頁のとおりです。

四国森林管理局长賞

最優秀賞

森林技術・支援センター

業務係長 芹口竜一氏



日本森林技術協会理事長賞

高知中部森林管理署

別府森林事務所

森林官 小松大高氏



四国森林管理局长賞

優秀賞

愛媛森林管理署

森林整備官 水田英司氏

係員 武市泰典氏



四国森林管理局長賞

優秀賞

独立行政法人

森林総合研究所

森林農地整備センター

松山水源林事務所

係長 則松大雄氏

主幹 井上弘一氏



四国森林管理局長賞

優秀賞

NPO法人

三嶺の自然を守る会

理事長 暮石 洋氏



会員 内田忠宏氏



徳島森林管理署

森林技術指導官

國見公一氏



四国森林管理局長賞

奨励賞

高知県立高知工業

高等学校(建築科三年生)



四国森林管理局長賞

奨励賞

高知県立四万十高等学校

(自然環境コース一年生)



**出張研修(チェーンソー)**

「研修の開催について」

〈総務課〉

一月二六日～二八日の三日間、伐木造材に関する基礎的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避



チェーンソー分解中

に必要な技術等を現場において習得させ、安全で効率的な伐木造材等の指導・監督に必要な技術力を向上させることを目的に出張研修(チェーンソー)を実施しました。

受講者は、各署等において、請負事業の監督を実施することとなる森林整備官や首席森林官等二〇名です。

この研修は、群馬県にある森林技術総合研修所林業機械化センターの職員が当

丸太の鋸断の様子



局に出向いて行うもので、今年度初めて実施しました。初日は、チェーンソーの構造とメンテナンスについての学習です。二人一組となつて、チェーンソーの分解組立を行いながら、日常の点検（清掃）、構成部品の各機能、点検整備等の説明を受けました。研修生の

中には、作業に慣れていて素早く分解し組み立てる班も見られました。二日目は、高知県須崎市の四万十森林管理署管内の国有林でチェーンソーの取り扱い方や立木伐倒の実習を行いました。まず、四班五名ずつに分かれて丸太の鋸断を行いました。はじめは、チェーン

ソーを使うのを躊躇した感じでしたが、次第に慣れ、スムーズに行うことができました。次は、かかり木の処理班と立木の伐倒及び枝払い、玉切り班に分かれて実習を行いました

恐るべし防護衣「ソーチェーンに白い繊維状のものが絡まっているところ」



た。特に、かかり木の処理については、災害が多発していることから、チルホールと滑車を使用し、入念に検討しました。最後に、保護衣と作業着の鋸断を行いました。作業衣は、刃先（ソーチェーン）が触れたとたんに切れまし

たが、保護衣は、刃先が触れたとたん、保護衣の中にある「白い繊維状のもの」がスプロケット（駆動部）に絡まって停止し、保護衣の凄さを実感しました。

ター所長による「各所属署等で請負事業体の指導等を行い災害等の未然防止に役立てて下さい。」との閉講の挨拶で研修は終了しました。

最終日は、講義の後、講師が目立てをしたチェーンソーを研修生に使用させ、研修生自身が目立てしたものの切れ味の比較をしました。研修生の感想は、「講師が目立てしたチェーンソーは、力もいらす吸い込むように切れ、振動も感じられない。自分たちが目立てしたものとは全然違っていた。目立ては、大変重要だと感じた」とのことでした。

最後に、林業機械化センター



チェーンソーの目立て指導中

# 「林野庁長官賞最優秀賞、林業機械化協会 会長賞」受賞

## 「国有林野事業業務研究発表会」

〈技術普及課〉



平成二六年度 国有林野事業業務研究発表会が二月四日、林野庁において開催されました。

今回の発表会には、四国



林野庁長官賞最優秀賞の伝達後  
(下段中央が受賞者福田薫氏)

急傾斜林地における効率的な集材システム」を嶺北

一課題ずつ参加しました。

「H型架線集材システム」

川森林管理事務所 企画官

柏木喜代幸氏 (元徳島森林

管理署)、南つるぎ地域活

性化協議会 会長平井滋氏

が発表しました。

○森林保全部門では、

「大正時代の治山事業調査」

を愛媛森林管理署津島森林

事務所森林官福田薫氏が発

表し、林野庁長官賞最優秀

賞を受賞しました。

林業機械化協会会長賞受賞  
された(左側)森下寿広氏  
(右側)石垣久志氏



なお、林野庁長官賞最優

秀賞を受賞した、福田薫

後、各署等へ配布する予定

氏については、二月九日に

今後とも森林・林業に対

局長室で伝達式を行いました

する多様なニーズに応えて

た。

いくため、各署等において

今回の研究発表会の内容

は技術開発等の取組を一層

等については、林野庁に

推進されるよう期待してい

まして発表集が作成され

ます。

## 校庭のアカマツを後世に

〈技術普及課〉



昨年末、高知市立第六小

朽進行度合いに加えて、児

学校から、校庭にある幹の

童や地域の方々の日頃から

腐朽が進んだアカマツ(樹

大切に見守っていることな

齢およそ百年超)の保護に

どのお話があり、何とか後

世に引き継ぎたいとの思い

を伺いました。

た。校長先生からは、アカ

を伺いました。

マツ保存の歴史や近年の腐

そこで、日頃より技術開

発等で連携して取り組ん

した。

指導を受け穂木の採取

初めて見る接ぎ木作業

のお礼の言葉をいただきま

でいる森林総合研究所 林

その結果、第六小

した。

木育種センター 関西育種

学校のアカマツを接

採取したアカマツは二

場（岡山県）に相談した

ぎ木により増殖する

年後に同じDNAを持つ

ところ、巨樹・名木等の

こととし、一月二九

アカマツの幼苗として第

遺伝資源のクローン増殖

日に関西育種場によ

六小学校に帰ってくる予

サービス「林木遺伝子銀

る穂木採取が行われ

定です。

行一〇番」を紹介され、

ました。

採

第六小学校から関西育種

当日、四年生から

六

場に申請することにし

六年生の児童が校庭

定

のアカマツを囲



み、関西育種場職員

することができました。

から、接ぎ木による

校長先生からは、「これ

増殖方法の説明を受

で、アカマツの新しい生命

けた後、児童が穂木

が生まれることになり、生

を採取し体育館で育

徒、地域の方々ともに大き

種場職員の行う接ぎ

な期待を寄せています。ま

木作業を観察しまし

た、技術普及課、関西育種

木を台木に接ぎ木す

のためご尽力いただきあり

る貴重な作業を目に

がとうございました。」と



のお礼の言葉をいただきま

「介良の祭り」で森林の大切さをPR

〈技術普及課〉

一月二五日、高知市立介

良小学校において、森林・

祭りの体験学習コーナ

木工教室を実施しました。

これは、介良小学校から、

親子が参加するイベント

理解を深めさせたいと、当

アカマツ近景



「ふれあい参観日・介良の

森林教室



局に依頼があったもので、木に関するミニクイズなどを実施し

当日は、地域の方々の協力を、二・三の体験コーナーが設けられ、森林・木工教室には一七組の親子等が参加しました。内容は、「世界で一番高い木は?」「世界で一番森林の多い国は?」などの外、絶対知

まず最初に、森林に親しみを持ってもらうため、名前(シヨウベン

ノキ)も全員正解するなど、参加者は皆博識で、全問正

解者が多数いました。その後、それぞれ希望していた木工作品作りを行いました。

希望作品は九種類に分かれ、五名での指導となり、時間内に終わるか心配でし

皆さん真剣に取り組んでいます



たが、児童の頑張りや、父兄の助けもあり、オリジナルな作品に仕上がりました。

一緒に来ていた参加児童の弟・妹、また、作品が仕上がった児童には、ジーゼミ等を作ったり、木

のおもちゃで遊んだりして、木の温もりを肌で感じてもらいました。できている、これでも成長かな・・・と見比べて楽しんでます。」とたいへん嬉しい言葉をいただき、

児童たちからは「カブトムシの足を貼り付けるのが細かくて難しかった。」「おひな様の色を塗るのが難しかった。」「木に興味がありましたので、自分でもいろいろ調べてみたい。」などの感想があったほか、三年生の児童(一年生から三年連続参加)のお母さんから、「四月には弟も入学します。来年は兄弟で参加させます。毎年作品を壁に並べて飾ってますが、少しずつ丁寧に、工夫が



ビンゴゲーム、輪投げ木のおもちゃおもしろい?

# 各地のたより



二月六日、社会福祉法人みずほ会みずほ保育園において、園児八名と、徳島市立昭和保育所園児八名の卒園記念として合同で行う森林教室が開催されました。当署職員も講師派遣と資機材提供の依頼があり、連携して実施することとなりました。

まず、保育園から見える眉山を眺め、森林に関わる

この大切さを知ってもらうため紙芝居を行い、森林に住むたくさんの動物が生きていくには、山の木を伐ったり手入れをすること



上手に出来るかな (時計&カレンダー)

が必要なことを学びました。

また、カズラや樹木や木の実等に直接触れて答えるクイズを行いました。園児達は手で感触を確かめたり、臭いを嗅いだりして様々な感想とともに、楽しく答えてくれました。

特に、カズラは、木に巻き付いて枯らしたり弱らせたりするので、人の手でカズラを切って手入れをすることが大切であることを、紙芝居の内容に沿う形で説明しました。

その後、卒園記念の「時計&カレンダーづくり」を行いました。

は、いい、これ、わかる人？



見せ、盛況のうちに森林教室を終りました。

今回、卒園記念として合同で森林教室を実施しましたが、本日、学んだことや製作した作品は、小学生になってもいつまでも大切な思い出として、持ち続けて

児童はその上に木の実や木の枝等を使って飾り付けや色塗りを行うこととしました。みんな夢中になって取り組んでいました。作るのに苦戦している子には、当署職員や先生がサポートしました。出来上がった作品を前に、園児たちは笑顔

の心に根付いてくれるよう、地域の要請に応えながら、森林環境教育の内容の充実や実施方法の改善に取り組んでいきます。

## 平成 26 年度四国森林・林業研究発表会 発表課題及び審査結果

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
1	下刈り省力化とシカ害対策に向けた新たな試みについて ～エリートツリーの植栽とシカ食害対策クリップの導入～ (経過報告)	高知中部森林管理署 別府森林事務所森林官 四国森林管理局 森林技術・支援センター所長	小松 大高 池本 育利	日本森林技術協会理事長賞
2	大規模な荒廃地の復旧方法の検討について	安芸森林管理署 治山技術官 係員	猪迫 啓司 津野 友謹	
3	名勝・入野松原の再生 — 地域連携による取組 —	四万十森林管理署 浮鞭森林事務所 森林官	中村 正史	
4	早明浦地区民有林直轄地すべり防止事業概成に伴う取組と成果	嶺北森林管理署 早明浦治山事業所 治山技術官 係員	松本 充弘 藤永 裕文	
5	囲いわなによる効率的なシカ捕獲及び普及について	四国森林管理局 森林技術・支援センター 業務係長	芹口 竜一	四国森林管理局局長賞 (最優秀賞)
6	屋島国有林における落石防止対策の取組について (災害に強い山づくりの推進)	香川森林管理事務所 総括治山技術官 治山技術官	鎌田 慎治 加用 貴章	
7	かかり木の安全対策について	愛媛森林管理署 森林整備官 係員	水田 英司 武市 泰典	四国森林管理局局長賞 (優秀賞)
8	作業道開設に伴う真砂土地帯における丸太組工と法面保護	(独) 森林総合研究所森林農地 整備センター松山水源林整備事務所 係長 主幹	則松 大雄 井上 弘一	四国森林管理局局長賞 (優秀賞)
9	三嶺におけるオーバーユース及びシカ食害対策の活動について	NPO法人 三嶺の自然を守る会 理事長 会員 徳島森林管理署 森林技術指導官	暮石 洋 内田 忠宏 國見 公一	四国森林管理局局長賞 (優秀賞)
10	林業の成長産業化を図る流通改革～中予地域における契約販売への取組～	愛媛県中予地方局産業経済部 森林林業課 係長 係長	亀岡 泰次 俊成 秀樹	日本森林林業振興会会長賞

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
11	地域の眠った財産を掘り起こそう！ —地域住民と国有林を結ぶ取組—	四万十森林管理署 黒尊森林事務所 地域技術官	河野 祐希	
12	林業遺産「いの町の森林軌道跡」を活用した地域活性化策の検討	いの町森林政策課 課長	野村 考宏	
13	プレイハウス製作	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	井川 詩月 隅田 啓太 久武由布子 細井 一真 山脇 優也 渡邊 将志	四国森林管理局局長賞（奨励賞）
14	四万十高校の活動と結の森	高知県立四万十高等学校 自然環境コース1年生	吾妻 勇哉 田邊 涼壱 中野 珠理 林 秋美 宮脇 亮	四国森林管理局局長賞（奨励賞）
15	平成26年に見られた稀少樹種トガサワラ及びシコクシラベの大量結実とジーンバンク収集について ※特別発表	(独)森林総合研究所林木育種センター関西育種場育種課育種研究室 主任研究員 収集係長 普及調整専門職 契約職員 育種研究室長	岩泉 正和 檜木野俊昭 笹島 芳信 祐延 邦資 磯田 圭哉	
16	「QGIS」を使用した森林管理 ※特別発表	愛媛県農林水産研究所林業研究センター 主任研究員	福嶋 政徳	
17	浸透移行粒剤を用いたシキミ吸汁性害虫の防除 ※特別発表	高知県立森林技術センター 主任研究員	藤本 浩平	
18	ヒノキ人工林の表土保全について考える ※特別発表	(独)森林総合研究所四国支所 森林生態系変動研究グループ長	酒井 寿夫	